

さくら ほっと NEWS

紹介

- ▶ 外来化学療法室
- ▶ 臨床試験管理センター

P.2

特集

- ▶ お困りの際はお気軽に！
相談窓口特集

P.2・3

お知らせ

- ▶ がん相談支援室を開設しました
- ▶ 駐車料金の無料認証について
- ▶ セタロビーコンサートが開催されました！

P.4

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

名古屋市立大学病院

患者さんの権利等

患者さんの権利

- | | |
|-------------|---|
| 良質の医療を受ける権利 | 患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。 |
| 情報を知る権利 | 患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分でわかりやすい説明を受けることができます。 |
| 選択の自由の権利 | 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。 |
| 自己決定の権利 | 患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。 |
| 機密保持を得る権利 | 患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報は厳正に保護されます。 |

患者さんへのお願い

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 大学病院として医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

vol. 3
2007年11月

Introduction 紹介

外来化学療法室

がんの治療に対する患者さんからの要求はより高度化・専門化し、安全性への期待も格段に高まっています。当病院でも本年5月の新外来棟オープンと同時に外来化学療法室が開設されました。外来化学療法室はこれまで各診療科で実施していた化学療法（がん治療と一部の免疫疾患）を、専属の医師、看護師、薬剤師を常駐して、より厳密に化学療法剤（いわゆる抗がん剤）の使用法・使用量の管理をしながら、がんに詳しい看護師（がん化学療法認定看護師）の生活指導、医師による副作用対策を実施することで、がん治療への専門化、安全性を向上させるというものです。

外来化学療法室内には9台のリクライニングチェアと2台のベッドが配置されており、長時間にわたる点滴時間を考慮し、モニターTVが設置されています。ここでは、専属薬剤師がリアルタイムに抗がん剤の調製を行っており、また化学療法の知識と経験のある医師1名が常駐し、患者さんの容態を診察するとともに万が一の対応に備えられるようにしています。外来治療中の患者さんからの容態変化等について電話相談も常時おこなっています。

ここで実施する治療（化学療法）は、100%事前に病院内の審査機関（抗がん剤適正使用推進委員会）で審査、

承認されており、誤投与防止のため、コンピューター登録システム化を全治療患者さんに適用し、さらに、前日に薬剤師が、当日は看護師が、それぞれ複数の目で治療内容のチェックを繰り返しています。

入院治療から外来治療へ、という流れが、がん診療においても着実に進む中、外来化学療法室は、患者さんがより安全に、そして安心して治療を受けられるために不可欠な存在となりつつあります。がん診療における病院間の連携、がん患者さんへの相談窓口、緩和医療の充実のためにも外来化学療法室では患者さんに寄り添うべく、スタッフ一同、力を合わせています。



臨床試験管理センター



『治験』という言葉を知っていますか

皆さんに病院から出されているお薬は、多くの「薬の候補」の中から、動物などで効き目(有効性)と安全性を詳しく調べた後に、健康な人や患者さんに使用して、有効性が確認され、国（厚生労働省）により「薬」として認められたものです。この過程で、ヒトを対象に行われる試験は「臨床試験」と呼ばれ、薬として承認される前段階で、研究的な側面があります。薬として世の中に出る最終段階の手続きの臨床試験を特に『治験』と呼んでいます。臨床試験管理センターは患者の皆さんが安心して臨床試験にご参加いただけるように支援を行っている病院中央部門です。

治験相談室 ☎ 858-7215(直通) ▶ 患者さんのための『治験相談室』をご利用いただいています◀
平日 8:30~17:00

臨床試験管理センターの隣室に『治験相談室』が開設されています。治験についての詳しい情報をお伝えし、治験に参加いただいている方の相談などが行われています。『治験』についてご興味のある方はお気軽にお尋ねください。また、治験への参加をご案内するポスターは、院内薬局窓口前(1階)および中央採血室前(2階)等に掲示し、当病院ホームページ「臨床試験のご案内」からもご確認いただけます。なお、「当センターNEWS誌」もご覧いただき、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

外来診療棟 1階

病棟・中央診療棟 1階

スターバックスコーピー



お困りの際はお気軽に！
相談窓口特集

病院の1階には、いろいろな相談窓口が集まっています。
どうぞ遠慮なくご相談ください！！

A 看護保健指導室 要予約

▶ **在宅での生活について看護師が専門的にアドバイス** ◀

看護保健指導室では、在宅で酸素療法や自己導尿、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）のケアを行う患者さんやご家族の相談を受け付けております。

相談時間は基本的に外来受診後で、お一人の患者さんにつき30分程度で、診察料とは別に指導料をいただいています。内容は実際にご自宅で使用中の医療機器や装具を持参していただいで正しく使用されているか確認したり、日常生活を送るうえでの疑問や質問にお答えしたりしています。

今年度からは担当者に皮膚・排泄ケア認定看護師が加わり、ストーマを持つ患者さんの相談をお受けしています。ストーマの観察や、患者さんの体型やライフスタイルに合わせた装具選び等について専門的な立場からアドバイスさせていただきます。

ご自宅で療養生活を送る中で、患者さん・ご家族ともに「不安だな。本当にこの方法でいいのかな」と思われることがあると思います。そんな時はぜひこの看護保健指導室をご利用ください。

なお、指導室を利用するためには事前に予約が必要です。予約は外来受診時に担当の医師を通じてできますので、お気軽にご相談ください。

E 患者相談室 ☎ 851-5511(代表)
平日 8:30~17:00

患者相談室では、医療内容についての心配や不安等のご相談を、専任の相談員（看護師）がお受けしております。ご予約は不要ですので、ご遠慮なくご相談ください。

F 医療相談 ☎ 858-7127(直通)
平日 8:30~17:00

医療社会事業室では、入院・外来中の患者さんの医療費・生活費・退院後の療養生活・福祉制度などに関する不安についての相談を行っています。お気軽にご相談ください。

G 在宅療養介護相談室 ☎ 841-8894(直通)
平日 10:00~12:00
13:00~16:00

在宅療養介護相談室では、財団法人名古屋市高齢者療養サービス事業団による、退院後の在宅療養生活に関する相談や介護保険制度の相談及び情報提供を行っています。

ご相談の際は、予約が必要です。お気軽にお問い合わせください。

C くすり相談室 ☎ 851-5511(代表)
平日 8:30~17:00

▶ **お薬のご相談をお受けしています** ◀

くすり相談室は、複数の患者さんにご利用いただけるよう2部屋用意させていただいております。

現在は、主に検査薬の服用法、インスリンに係わる使用法、吸入薬の使用法、初回服用に際し説明が必要な処方薬についての説明のために利用させていただいております。

お薬のことで、知りたい事、わからない事、疑問な点がある場合は、薬局窓口で声を掛けていただければ「くすり相談室」にて説明をさせていただきますのでどうぞご利用下さい。

D 栄養相談室 要予約

▶ **管理栄養士に相談してみませんか** ◀

栄養相談室では、糖尿病など個々の病気に合わせた食事、化学療法による食欲不振など治療上で起こる食事に関する悩み、飲み込みが困難なときの食事、胃切除などの手術前後の食事などお悩みの方について、入院・外来を問わず、患者さんとそのご家族を対象に医師の指示の下に食事や栄養についての相談を受け付けています。

糖尿病、腎臓病については、1クール4回で、少人数グループでの指導も行っています。地域の病院などからの紹介患者さんも受け入れています。

栄養相談は予約制になっています。希望される方は、主治医にお尋ねください。

H がん相談支援室 ☎ 851-5511(代表)
平日 8:30~17:00

新しく開設しました。詳しくは裏面をご覧ください。



がん相談支援室を開設しました

当病院では、がんについてのご相談をお受けする「がん相談支援室」を、病棟・中央診療棟1階「患者相談室」内に開設しました。

「患者相談室」同様、専任の相談員（看護師）が無料でご相談をお受けいたします。

「がん相談支援室」では、療養上の心配ごとなどの相談を始め、がんに関係する一般的な医療情報の提供や、セカンドオピニオンを実施する医療機関の案内などを行っています。

また、病気のことなどを詳しくお知りになりたいときは、必要に応じて地下1階に設置の「患者情報ライブラリー」をご案内いたします。（参考図書、インターネット端末及び相談員を配置してございます。）

がんについてお尋ねになりたいことがござい

たら、ご遠慮なくご利用ください。

【相談日】月曜日～金曜日
（祝祭日を除く）

【時間】8時30分から
17時まで
（患者情報ライブラリーは
9時から16時まで）

【電話】052-851-5511(代表)



駐車料金の無料認証について

現在、当病院においては、車で来院される患者さんや入院患者さんの付添者（病院が認めた方）については認証を受けていただいた上で、駐車料金を無料としております。

【患者さんの場合】

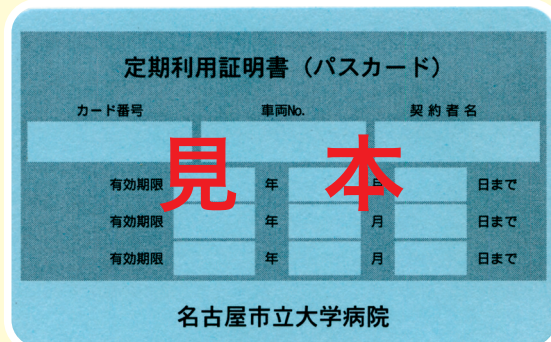
玄関総合案内（平日の8時30分から17時）または病棟・中央診療棟1階防災センター（24時間対応）で行っておりますので、当日の日付が入った領収書、院外処方せん、薬袋、次回の予約票、診療予約票、検査の説明同意書のいずれかを提示して認証を受けてください。

【入院患者さんの付添者の場合】

病棟・中央診療棟1階防災センター（24時間対応）に証明書（パスカード）を提示して認証を受けてください。パスカードの発行は病棟・中央診療棟3階業務課病院施設係で手続きを行っております。

お見舞いの方、面会される方については、駐車料金が無料となりませんので、ご了承ください。

なお、駐車できる台数には限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。



七タロビーコンサートが開催されました！

去る7月6日（金）と7月22日（日）の2日間、新外来診療棟1階アトリウムにあるピアノ前において、ボランティアによる七タロビーコンサートがあり、2日間あわせて約150人の来場がありました。

6日は医師や医学部学生等が出演し、クラシック曲や洋楽の曲など、多種多彩な曲が演奏されました。22日は医学部学生や名工大学生・OBで結成された「瑞穂弦楽四重奏団」によるコンサートが行われました。

コンサート当日は病院ボランティアによりイスが並べられ、訪れた患者さんたちは、開放感ある明るい雰囲気の中で音楽を楽しむことができました。点滴中の患者さんや、車椅子を使用中の患者さんも多数来られた他、喫茶コーナーのそばで開催されたこともあり、コーヒーを片手に演奏に聞き入っている方の姿もありました。

12月には、毎年恒例のクリスマスコンサートの開催も予定しております。詳細は決まり次第掲示等でお知らせいたしますので、どうぞご期待下さい。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



6日の様子



22日の様子

名古屋市大病院
ホームページの検索方法の案内「名古屋市大病院」で検索

検索
クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。